

IV 評価を終えて

本市教育委員会の自己点検評価は今回で 16 回目を数え、令和 4 年 3 月に策定した「第二次富士市教育振興基本計画（令和 4 年度～令和 13 年度）」における初年度の事業評価を終えました。

本市では、外部評価委員の皆様から、より正確な評価をいただくために、2 回の外部評価検討会を開き、教育委員及び教育委員会事務局から各事業に対する取組実績及び自己評価結果について説明・質疑応答を行っています。今回、外部評価検討会を行った上でいただいた総合所見では、事業全般について、評価できる 3 点と、今後の課題としたい 3 点をご指摘いただきました。

まず、複雑多様化している現代、またコロナ禍であっても、自己点検・評価を施策の改善につなげていることを評価していただきました。これまでと変わらず、誠実、確実な改善を継続してまいります。

また、市民目線に立った情報発信や社会教育の充実の 2 点を評価していただきました。引き続き、子供や市民が学び合い、学び続ける機会の確保や、学びの質の向上に注力していけるよう努めてまいります。

一方、今後の課題として、以前からも指摘をしていただいていることではありますが、社会状況の変化やニーズに合わせた指標の見直しや追加など、柔軟な対応についてご指摘をいただきました。私たちが目指すべき方向性を示している指標について、よりよい指標とは何なのかを考え、指標を追加する等、柔軟に対応していくという視点を持ちながら、「富士市の教育行政」（単年度目標）の計画に生かしてまいります。

また、教育施策を教員や市民へ周知していくために、各学校や機関における事例の情報共有の在り方についてもご指摘をいただきました。SDGs やコミュニティ・スクール、子どもの権利条例など、これまでに各学校で取り組んできたものについて、成果と課題を学校と教育委員会が共有し、他の学校へと広げていくことで、本市が目指す「学びを楽しみ、輝く子どもの姿を実現する学校教育」の更なる推進を目指してまいります。

令和 5 年度は、第二次富士市教育振興基本計画の 2 年目となります。各事業の目標達成に向け、教育委員会内の課や所属を越えた連携・協働はもとより、市長部局等ともしっかりと連携して施策を推進してまいります。

最後に、島田桂吾会長をはじめ、石川誠会長職務代理者、工藤千麻琴委員、星野恵美子委員から、貴重なご意見や温かい励ましのお言葉をいただいたことに、厚くお礼を申し上げます。

富士市教育長 森田 嘉幸